

## 大学院改革ビジョン

我が国の人口動態を踏まえ、2035年までに学部定員を10%程度削減し、大学院への定員シフトを行う。大学院では、本学が培ってきた**産業界をはじめとする社会との強いリンケージと海外大学等との広範なネットワーク**を活かして、高度な専門的知識を社会課題の解決に適用できる**「高度社会実装人材」**の育成に向けて、修士・専門職学位課程の再編強化と、博士後期課程のミッションと教育体制の変革を、全学的に進める。

### 本学の大学院において 対応すべき課題

- ① 過度に分権化された大学院の運営体制
- ② 学部から大学院への進学者の停滞
- ③ 博士後期課程の新たな対象者層への転換と教育方法の改善の必要性

## 2035年に向けた大学院改革の4つの柱

### 1 大学院の機構改革 本部機能の強化と教育機能の分離

- 全学的な教育改革と運営を統括する「全学教育統括機構」を設置
- 外部環境の変化に対応した柔軟な大学院教育プログラムの編成を可能にするため、既存の研究科から教育機能を分離

### 2 「高度社会実装人材」の養成に向けた修士・専門職学位課程の改編・強化

- 「ソーシャル・イノベーション教育部」の新設による新領域の開拓
- 「高度社会実装人材」育成に向け、社会的ニーズが高い大学院教育プログラムへの集中的な資源投入
- 他大学(東京外国語大学など)との連携を通じた5年一貫教育プログラムの拡充により、学部からの大学院進学者を拡大
- 千代田キャンパスの大幅な拡充・機能強化による社会人向け教育プログラムの拡大

### 4 海外ネットワークを活かした大学院教育のさらなる国際化

- 海外主要大学院との国際共同講義、国際機関での実地研修等の推進
- グローバル・アドミッション・オフィスの設置による海外リクルーティング強化

### 3 人文・社会科学系大学院のモデルとなる 博士後期課程の抜本的変革

#### 新たなミッションに基づく博士後期課程教育プログラム変革

##### 新たなターゲット層

 「高度社会実装人材」を養成する本学の修士・専門職学位課程を修了した学生

 技術系大学院生  
【参画大学】  
東京科学大学  
電気通信大学  
東京農工大学  
お茶の水女子大学

 修士・博士号を有する社会人

#### 博士後期課程

- 「高度社会実装人材」育成に向けた組織的・体系的な教育方法の構築
- アカデミックキャリアとは異なる学位授与と基準の設定
- 理工系の修士・博士号取得者や博士課程在籍者向けの新規プログラム開発
- 日本版Industrial Ph.D.導入に向けた体制整備